

製品名: Sp3/4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18152**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	82kDa

抗原情報

遺伝子名	SP3/SP4
別名	SP3; Transcription factor Sp3; SPR-2; SP4; Transcription factor Sp4; SPR-1
遺伝子 ID	6670/6671
SwissProt ID	Q02447/Q02446
免疫原	抗血清はヒト SP3/4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 671-720

背景

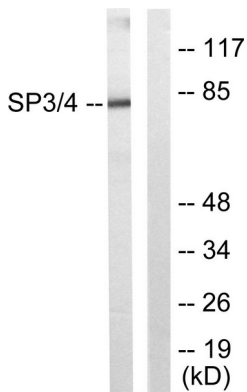
この遺伝子は、標的遺伝子のコンセンサス GC ボックスおよび GT ボックス調節エレメントに結合して転写を制御する転写因子をコードする Sp1 関連遺伝子ファミリーに属します。このタンパク質は、ジンクフィンガー DNA 結合ドメインと複数の転写活性化ドメイン

を含み、多数の遺伝子の転写を刺激または抑制する二機能性転写因子として機能することが報告されています。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする転写バリエーションが記載されており、そのうちの1つは非AUG (AUA) 開始コドンから翻訳を開始することが報告されています。代替の下流翻訳開始部位の使用に起因する追加のアイソフォームも注目されています。関連する擬似遺伝子が13番染色体上に同定されています。[RefSeq提供、2010年2月]、機能: おそらくアイソフォーム特異的な方法で、活性化因子または抑制因子として作用する転写因子。GTおよびGCボックスのプロモーター要素に結合します。類似性:Sp1 C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。類似性:3つのC2H2型ジンクフィンガーを含みます。組織特異性:普遍的に発現します。、

研究分野

-

画像データ



SP3/4抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。